

いすみ鉄道 里山ハイキング in大多喜

ルートマップ

全長約7km



至大多喜

紙敷集落

C. 宇城の館



A. 蔵の宿



D. 君塚きのご園

小苗集落



B. 齋藤ガーデン

湯倉集落

A

至市原・君津

光善寺

西小学校

中野集落

三育学院
中学校

上総中野駅

西畑駅

465

至養老溪谷

いすみ鉄道

見どころ紹介

君塚きのご園

君塚きのご園は入園無料で100g・200円で生きらげの収穫体験をしたり、購入することができる観光農園です。

きらげは中華料理でよく食べられますが、多くは乾燥したものです。君塚きのご園の無農薬生きらげは、肉厚で歯ごたえがプルプルとした食感を楽しめます。

期間は6月中旬から11月上旬です。

宇城の館

築108年の古民家を改修した手づくり甲冑のアトリエです。君塚良信さんは、平成17年より手づくり甲冑の制作を開始、「大多喜城手作り甲冑隊」として「大多喜お城祭り」に出陣。平成26年10月28日には、いすみ鉄道株式会社、台湾鉄道管理局・集集線姉妹鉄道協定の調印式に参加しPR活動を行うなど、活躍しています。

大多喜城主・本多忠勝の甲冑をはじめ10領以上あり大変精巧な作りで必見です！

癒しの齋藤ガーデン

光る水面が素敵な小川が庭を回り込むように流れており、庭園からの眺望はとても広大で心が癒されます。春は70本の八重桜が庭をピンク色に彩ります。夏は、青竹の竹林に癒されます。秋は、500本の紅葉が真っ赤に対岸の小川を染めます。

特に四月は八重桜が満開を迎え、庭園で音楽祭を開催するなど賑わいを見せます。菜の花、平戸つつじ、あじさい、むくげなど様々な植物がお待ちしております。時間を忘れてのんびり癒されましょう！

蔵の宿・齋藤家

齋藤家は貴族院議員や千葉県議会議員を輩出し、林業にも精通する家柄です。齋藤家では奥ゆかしさや、美しい佇まいを保つため、補修・保全・管理に取り組まれています。

現在では考えられないほどの太い木材や梁を随所に用いており、覗いてみるのもあり！また大正時代には「大正の花咲ばあさん」として有名になった齋藤まんさんが、東京の荒川土手に桜5千本を植樹しようと活動しました。



いすみ鉄道について

大正時代に木更津と大原を内陸で結ぶ路線として計画され、「木原線」として開業しました。現在の久留里線と結ぶ計画は途絶えましたが1988年に「いすみ鉄道」に転換され、何度も廃線の危機に見舞われましたが、学生さんや地域の方々による生活の足としての存続を求める声や、鉄道ファンの熱烈的な支援もあり、今日に至っています。